

2026年度 倉成観光バス 安全実施計画

実施期間 2026年4月1日～2027年3月31日

運輸安全マネジメントの概要

輸送の安全を確保する為に代表及び取締役(以下「経営トップ」という。)主導による新たな仕組み(安全マネジメント)づくりを推進し、安心・安全で健全な会社運営を目指し、輸送の安全確保が最も重要であるという意識を、経営トップから現場の乗務社員まで浸透させ、輸送の安全に関する計画の作成・実行・チェック・改善(PDCAサイクル)を活用して、会社全体の安全確保・向上を継続的に行うものです。

1、輸送の安全に関する基本方針

- ①輸送の安全確保が事業運営の根幹であることを認識し、全社員で積極的に輸送の安全確保についての取り組みが出来る会社を目指します。
- ②輸送の安全に関わる法令・規則を遵守し、誠実に業務を遂行します。
- ③安全輸送に関する費用の支出、及び投資は積極的に行い、輸送の安全確保に努めます。

2、安全目標

重大事故、人身事故、車内事故、健康起因による事故 0件

輸送の安全に関する法令の遵守

酒気帯び運転、アルコール検知 0件

※総括

今年度は前年度を下回る物損事故の件数がありました。その事故内容として、前年同様、周囲の確認がしっかりできておらず見落とした物との接触事故でした。人との接触ではなかった為、大事には至りませんでした。が、一歩間違えると大変なこととなります。改めて気を引き締めて安全に対する意識を強く持ち、事故「0」に向けて全社員で取り組んで参ります。

5、輸送の安全に対する組織体制および指揮命令系統

※別紙参照

6、事故・災害に関する報告連絡体制

※別紙参照

7、輸送の安全に関する取り組み

○乗務員教育計画

- ・乗務員への指導・教育を定期的実施し、安全運行に対する意識向上を図る。
(年間教育プログラム作成)
- ・初任、適齢、事故惹起者への指導教育の実施。
- ・車両点検講習、法令講習会、適性診断等を実施し運転者としてのレベルアップを図る。
- ・バスの事故等の緊急時を想定した対処や避難訓練を行い、緊急時の安全確保の為のスキルを身につける。
- ・事故内容の分析と適性診断の有効活用により、事故の防止に努める。

○健康管理の強化

- ・全従業員に対し、健康診断の実施。
- ・健康診断の結果に対し必要があれば再検査、精密検査を実施し、医師の診断を基に乗務員の運行可否の決定を行う。
- ・乗務前点呼時に血圧測定、体温測定を実施し乗務員の健康状態を把握する。

- ・乗務員に対し、睡眠時無呼吸症候群、脳疾患、心疾患等の安全運行の為に必要な検査を実施する。

○飲酒運転防止対策

- ・乗務員に対し、乗務前後の点呼時にアルコール検知器による検査を確実に行う。
- ・宿泊を伴う業務の際には、運行開始前又は運行終了後に通信型アルコール検知器を用いてその場で検査を行うことで管理していく。

○安全に関する設備投資

- ・人材確保への投資を行い、乗務員の充実を図る。
- ・高年式車両を新しい車両へ入れ替える。
- ・劣化部品等の早期修繕を行い、整備不良や故障のリスクを減らす。
- ・安全運行の為に必要な健康診断を追加で実施する。

○内部監査実施

- ・人身事故が発生した時、または年度末に内部監査を実施し、実績を基に計画の達成状況の確認、評価を行う。

8、安全管理規程

※別紙参照

9、安全統括管理者

代表取締役 倉成 昭宏